



2019関東学生トライアスロン選手権 那須塩原大会

競技説明会

目次

1. スイム競技

2. トランジション

3. 乗降車ライン

4. バイク競技

5. ラン競技

6. ペナルティーボード

7. ペナルティ

8. その他注意事項

9. オフィシャル

10. プロテスト

1. スイム競技

- 今大会は水温に関わらず、
ウェットスーツの着用を義務とする。
- ウェットスーツの下にゼッケンを
付けたままスイム競技を行うことは禁止。
- スイム競技の**制限時間は45分**

・入水チェックは **指定された時間のみ可能**

女子 **9:30~9:50**

男子 **12:30~12:50**

※入水チェックに
遅れた選手・行わなかった選手
は**失格**とする

※一度、入水チェックを行った選手は
スイム会場から**競技終了まで出ることはできない**

- ・ コースブイ・ロープ等につかまり、
小休憩をとることを認める。

ただし、

これらを**利用して移動することは禁止**とする。

- ・ 競技中に**助けが必要な場合**、
片手を頭の上でふり、

声を出して救助を求めること。

2. トランジッション

- 競技備品は競技中であっても、**通路や他の選手の妨げにならないように**しなければならない。
- ヘルメットのストラップは
ラックからバイクを**取出す前に**しっかりと絞めること。

バイクフィニッシュ後は、
バイクを**ラックに掛けた後に**ストラップを
外すこと。

→違反者は**ペナルティの対象**

- バイクをラックにかけるときは、
ラックナンバーが手前に見える向きのサドル掛け
とする。

→違反者は**ペナルティーの対象**

- ・ 競技備品の搬入、回収は原則**選手本人**が行い、**ナンバーカードの提示をしなければならない。**

出入口では**ゼッケンのレースナンバー、**
バイク・ヘルメットのレースナンバー
の確認を大会スタッフが行う。

また、バイクを搬入する際、
必ず**ヘルメットのストラップ**をしてください。

- ・ 救護等の理由で選手本人が回収が出来ない場合
代理での回収を認める。
その際、**当該選手のゼッケン**の提示を行う

- ・ トランジッションの開放の時間は
一回目 8:40~9:40
二回目 12:10~12:30

※バイクの搬入は
一回目のトランジッションオープン時のみとする。

※トランジッションエリア**クローズ時間以降**の
エリア内での**設営を一切認めない**。

クローズ時間に**遅れてきた選手**、
クローズ後に**設営している選手**を**失格**とする。

3.乗降車ライン

- 乗車時はラインを
足が1歩超えてから乗車し、
降車時はラインの手前で
足を1歩ついてから降車すること。

違反者は
ペナルティーの対象とする。

乘車時



降車時

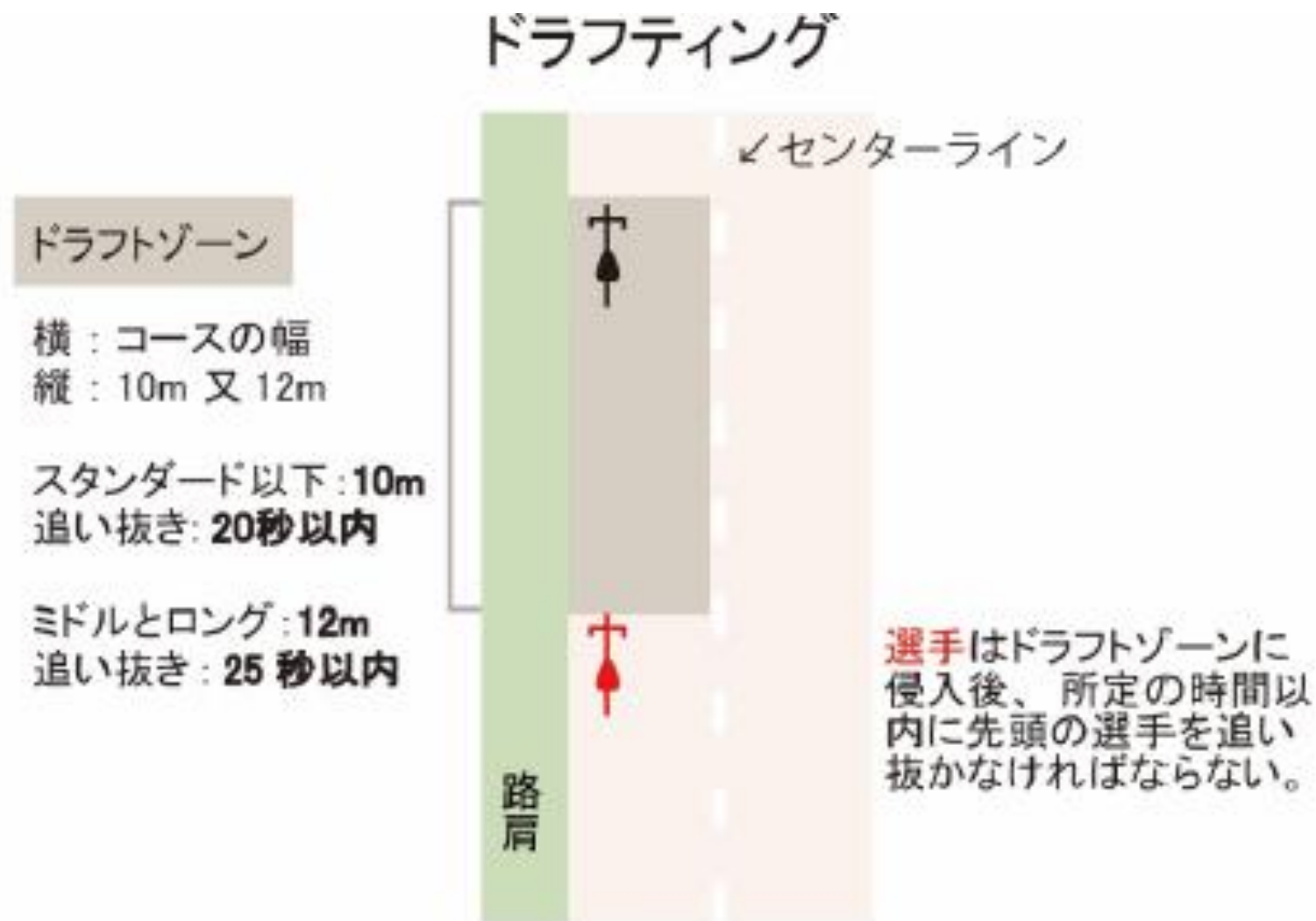


4. バイク競技

- **キープレフト**を厳守し、
追い越す際には後方を確認してから
右側から追い越すこと。
- DHバーの装着を認める。
- **落車には十分に気をつけ、
危険箇所ではしっかりと減速をすること。**

- ドラフティング・ブロッキングは禁止とし、
厳しいペナルティーを与える。
- 基本は警告→ペナルティーの順で取る。
警告を受けた時点で違反行為を止めれば、
ペナルティーを与えない。
- 固定マーシャルでは上記違反の判断材料として、
撮影を許可する

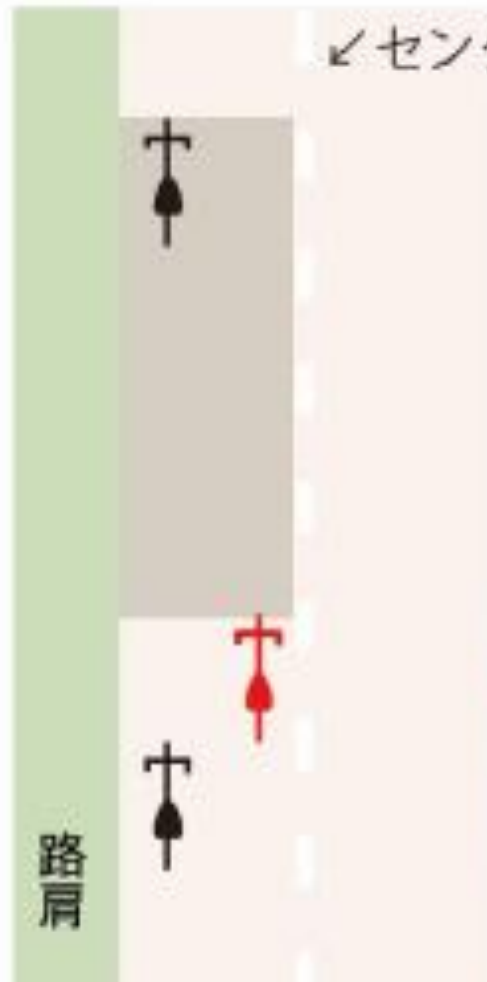
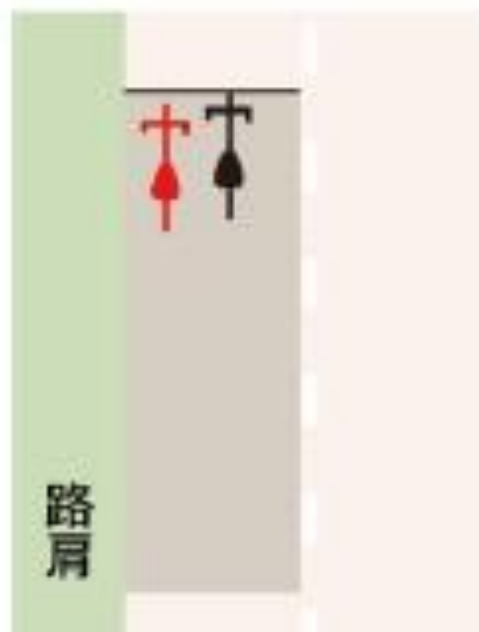
ドラフティング



ブロッキング

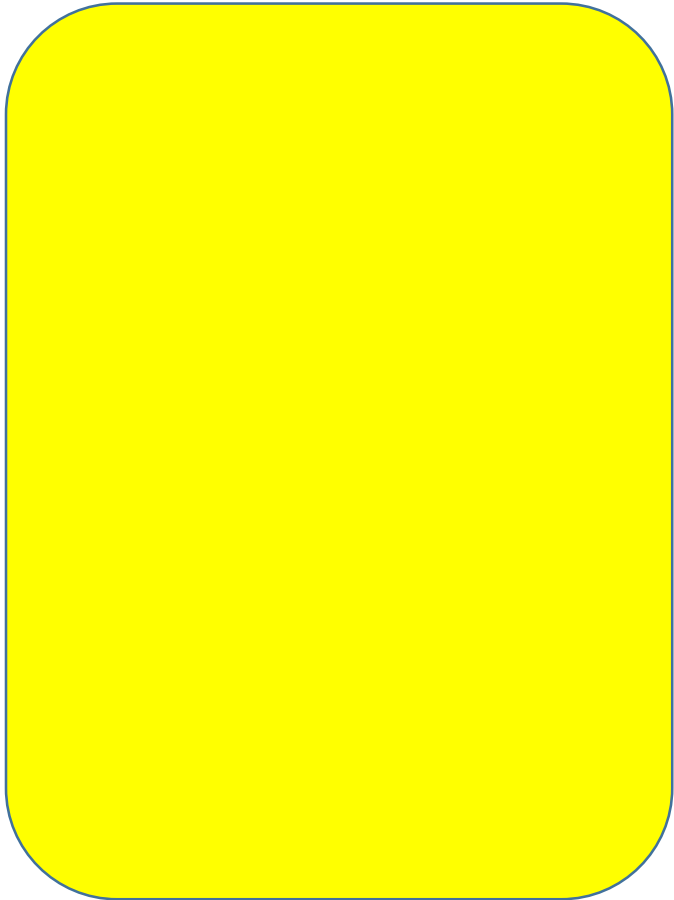
ブロッキング

選手は別の選手の前輪が先に出た時、**追い抜かれた**と見なされる。一度追い抜かされたら、前の選手のドラフトゾーンの外に**5秒以内**に出なければならない。



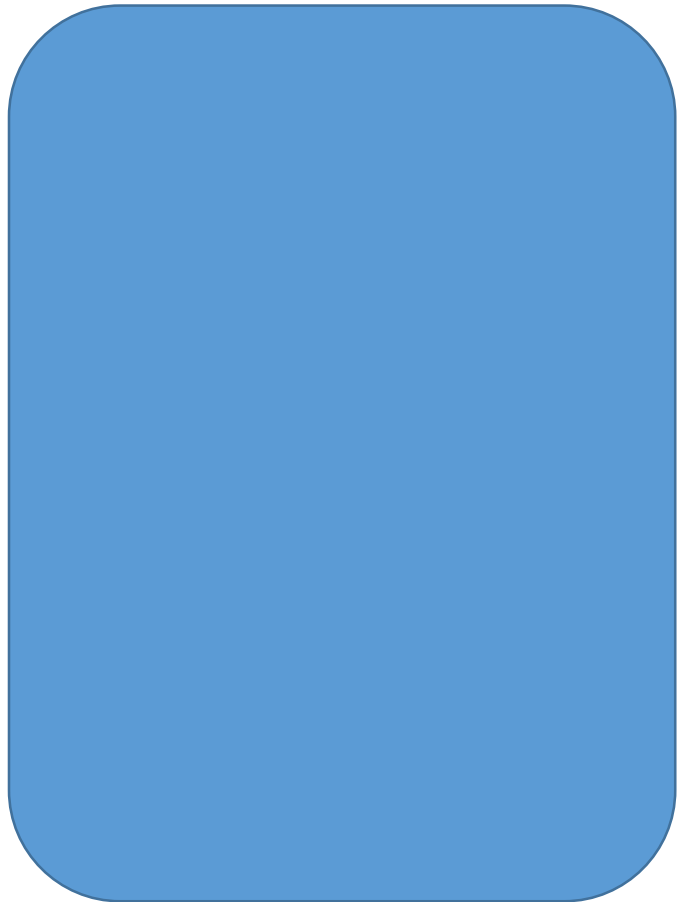
選手はブロッキング状態をつくらぬようコースの左端を走行し続けなければならない。

- ・ 移動マーシャルの観察は以下のように行う



移動マーシャルはドラフティングを行っていると判断した場合、まず、笛・黄色のカードで警告する。

- ・ 移動マーシャルの観察は以下のように行う



その後、20秒立ってもドラフ
ティング等が解消しない場合、
青のカードを提示し、ドラフ
ティングであることを通告する。

ロードバイクから見た10メートルの視線は
以下のものである



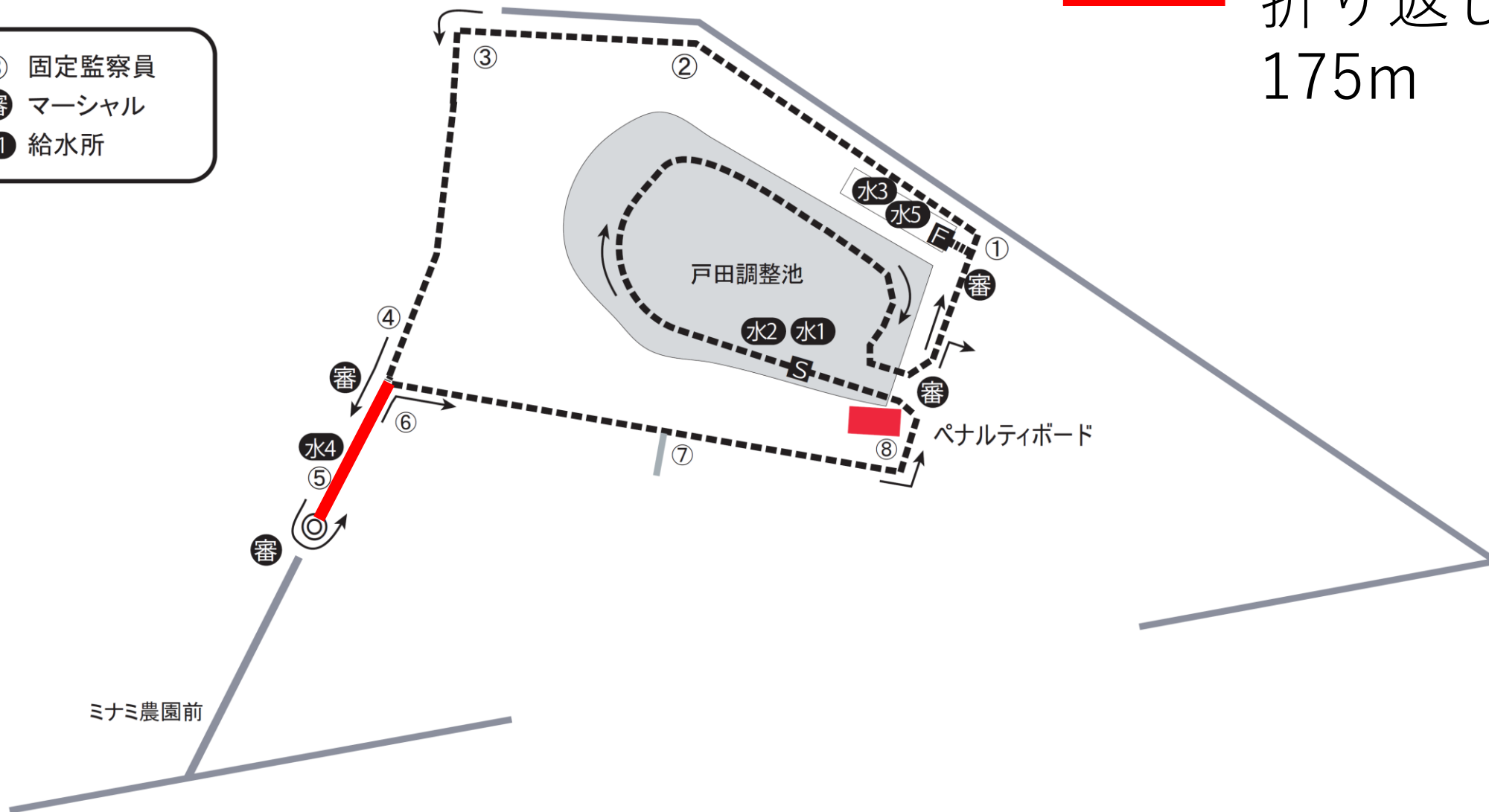
5.ラン競技

- **キープレフト**を厳守すること。
- 応援関係者及び他の選手による、競技者の**伴走**は認めない。
- **意図的な同着**は認めない。
- 一度フィニッシュした選手が**再度コース内に入る**ことはできない。

[ランコース]

- ①～⑧ 固定監察員
- 審 マーシャル
- 水1 給水所

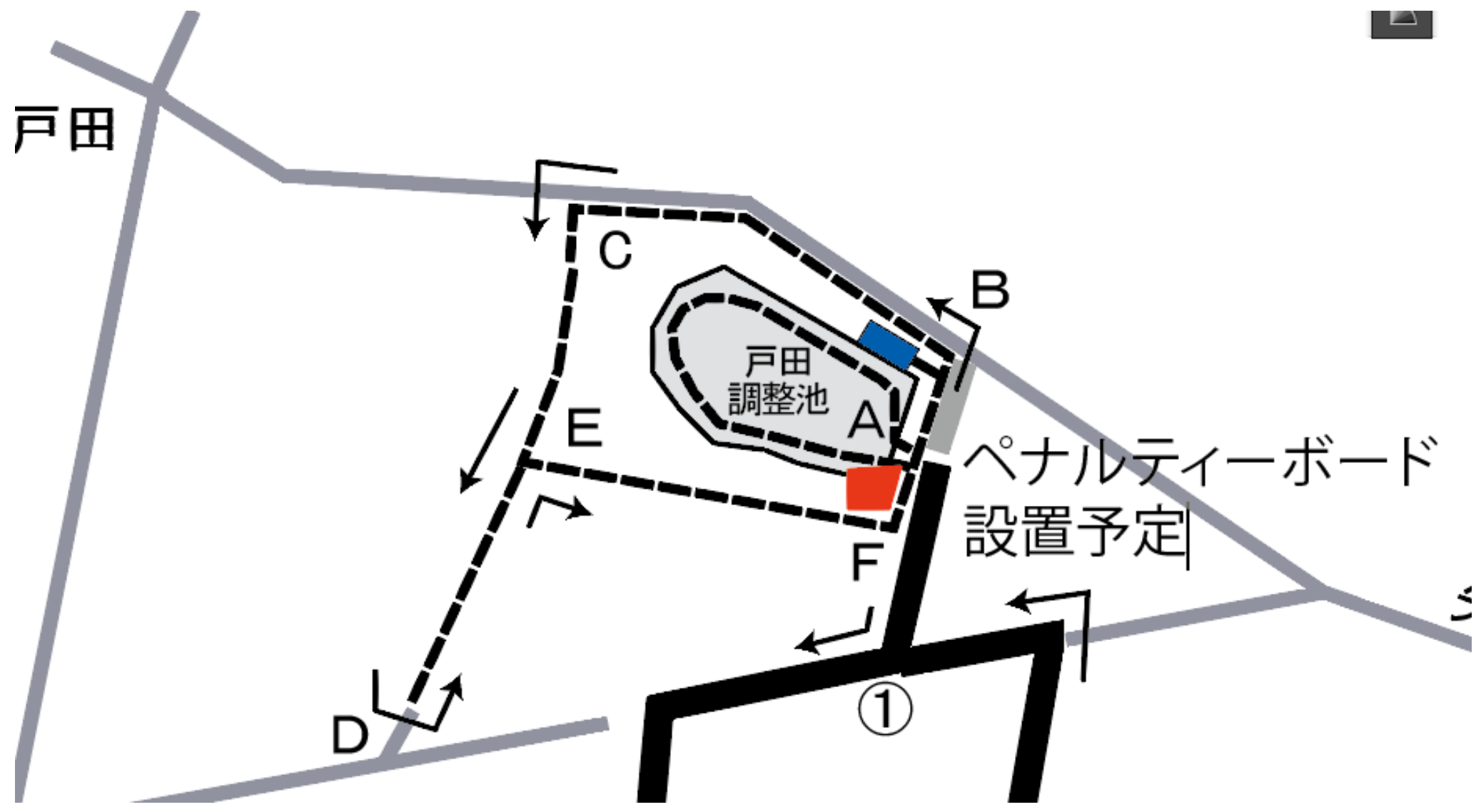
— 折り返し地点
175m



戸田調整池トランジションスタート → 周辺コース2周 → 水辺公園フィニッシュ
◆2周回目も戸田調整池内を1周

6.ペナルティーボード

- ペナルティーボードとは、ペナルティ対象者を競技中に知らせるものである。
- **ランコース上に1箇所設置する。**
- 番号の掲示を見なかったからといって、ペナルティーや失格を課せることはない。
- 審判員から、番号を知らせることはしない。



戸田

戸田調整池

ペナルティーボード
設置予定

①

C

B

E

F

D

7.ペナルティー

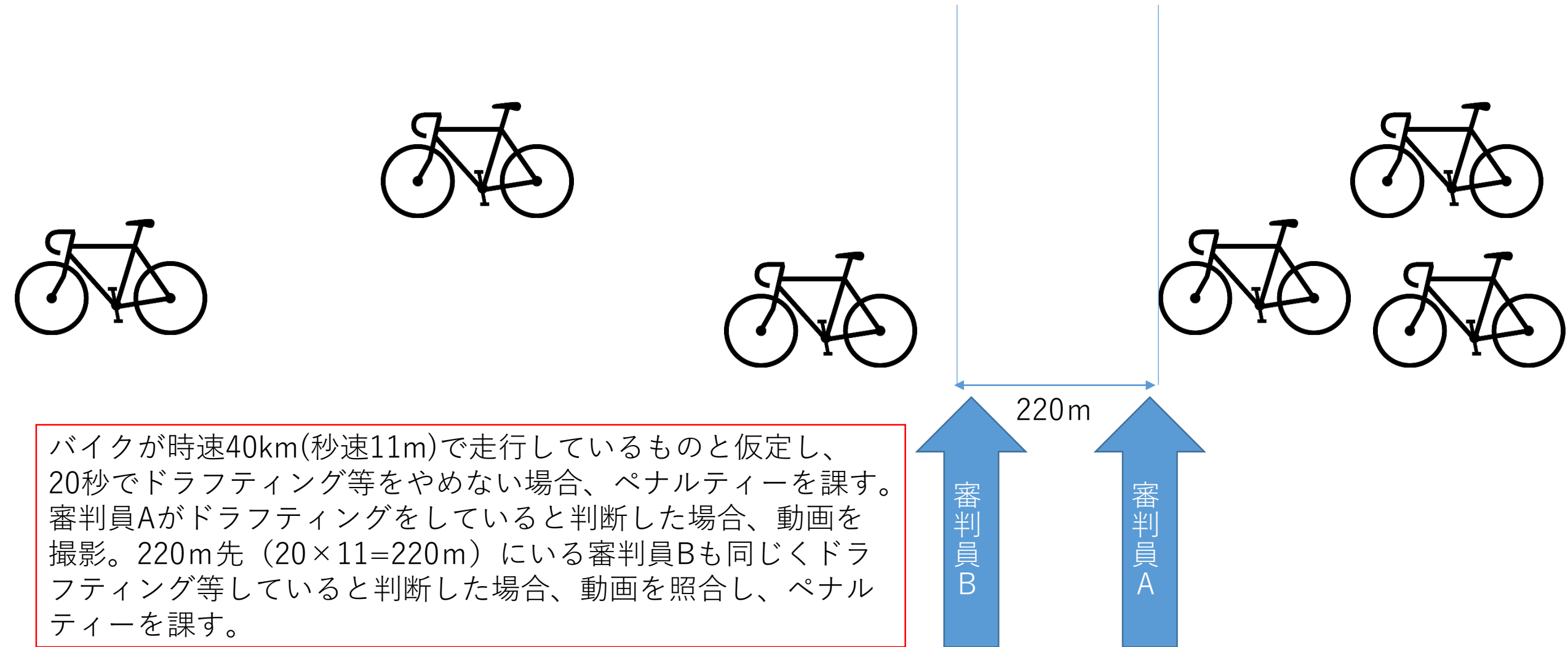
- JIU競技規則及びローカルルールに違反する行為に対してはペナルティーを与える。

競技中に適用を受けなかった場合でも、レース後に違反行為が認められた場合はペナルティーを与えることがある。

- ペナルティーはタイムペナルティー(TP)ルールがその時の状況により、審判員の裁量で適用される。

- TPルールについては**一律15秒**とするが、エントリーや受付等に遅れる行為に対してはこの限りでない。
- ドラフティング・ブロッキングに関するペナルティーは**1回目を120秒**
2回目以降を失格とする。

固定マーシャルの観察は以下のように行う



バイクが時速40km(秒速11m)で走行しているものと仮定し、20秒でドラフティング等をやめない場合、ペナルティーを課す。審判員Aがドラフティングをしていると判断した場合、動画を撮影。220m先 ($20 \times 11 = 220\text{m}$) にいる審判員Bも同じくドラフティング等していると判断した場合、動画を照合し、ペナルティーを課す。

ペナルティの例

- ドラフティング・ブロッキング
- フライイング
- 乗降車ラインを超えた行為
- トランジでのバイクのかけ間違え。
- スイムパートからランパートに移る際、
バイクをバイクラックから外す前に、
ヘルメットをしない行為
- バイクパートからランパートに移る際、
バイクをバイクラックにかける前に
ヘルメットのストラップを外す行為

失格の例

- ・ トランジクローズ時間にエリア内にいた選手
- ・ ドラフティング・ブロッキングを2回行った選手
- ・ 審判員への暴言
- ・ 入水テック漏れ
- ・ 規定コースのショートカット
- ・ 替え玉出場
- ・ 目に余る危険行為
- ・ バイク競技、ラン競技における周回不足

8.その他注意事項

- 競技中に選手が熱中症などの他人からの援助が必要な場合のみ、**ボランティアスタッフによる**水分補給や日陰への移動、その他の医療行為を認める。

その後、**ペナルティーなしでレースに復帰できる。**

- ボランティアスタッフ以外からの援助を受けた場合、ペナルティーを与える。

- 脱水症や熱中症予防のため
水分補給を心がけること。
- リタイヤする場合は、
必ず審判員に申し出て、
審判員に**アンクルバンド**を返却すること。
- リタイアした場合、
バイクに**乗らずに押して**会場まで帰ること。

- ・フィニッシュ後、
上半身裸になる等の行為をやめること。
→一般の方々の迷惑になるため。
- ・アナウンス後、
バイクのピックアップを迅速にお願いします。
- ・補給食やテーピングなどのごみを
コースの上に捨てた場合、
ペナルティーの対象とする。

～ストックホイールについて①～

- ・ディスクブレーキ及びディスクバイク用ホイールの使用を許可。

そのため、ストックホイールの規定にディスクバイク用ホイールの規定を新たに追加。

出場選手**1～19人時**の

ストックホイールを前後輪**1組**とし、

そこから**10名増えるごとに1組追加**していく。

～ストックホイールについて②～

例) リムホイール、ディスクバイク用ホイールを申請する場合

- ・ 出場選手が各大学**1~19名**の場合、
リムホイール**1組**、ディスクバイク用ホイール**1組**、
計**2組**
- ・ 出場選手が各大学**20~29名**の場合、
リムホイール**2組**、ディスクバイク用ホイール**2組**、
計**4組**

※ただし、ディスクバイク用ホイールの申請がない場合
従来のスタッフホイール規定と同様。

～ストックホイールについて②～

例) リムホイールのみの場合

- ・ 出場選手が**1～19**名の場合、リムホイール**1**組
- ・ 出場選手が**20～29**名の場合、リムホイール**2**組

～ストックホイールについて③～

- ・ストックホイールの受付時間は、

7:30～9:30

です。

- ・**現地に直接搬入してください。**

※この時間以外の受付は認めません。

～ストックホイールについて③～

- ・ストックホイール
設置場所



～ストックホイールについて④～

- ディスク用ホイールをストックホイールとして使用する場合、**あらかじめ申請を行う必要がある。**
- 申請を行う大学は、**29日の19時**までに
JUTUのメールアドレス(jutu19info@gmail.com)
へ連絡をすること。

～女子更衣室について～

- ・ 公園内に着替え用のテントを設置。
- ・ 盗難、置き引き等に気を付けること。
- ・ 大会本部での貴重品の預かりはしない。
- ・ **8時30分から9時50分まで。**

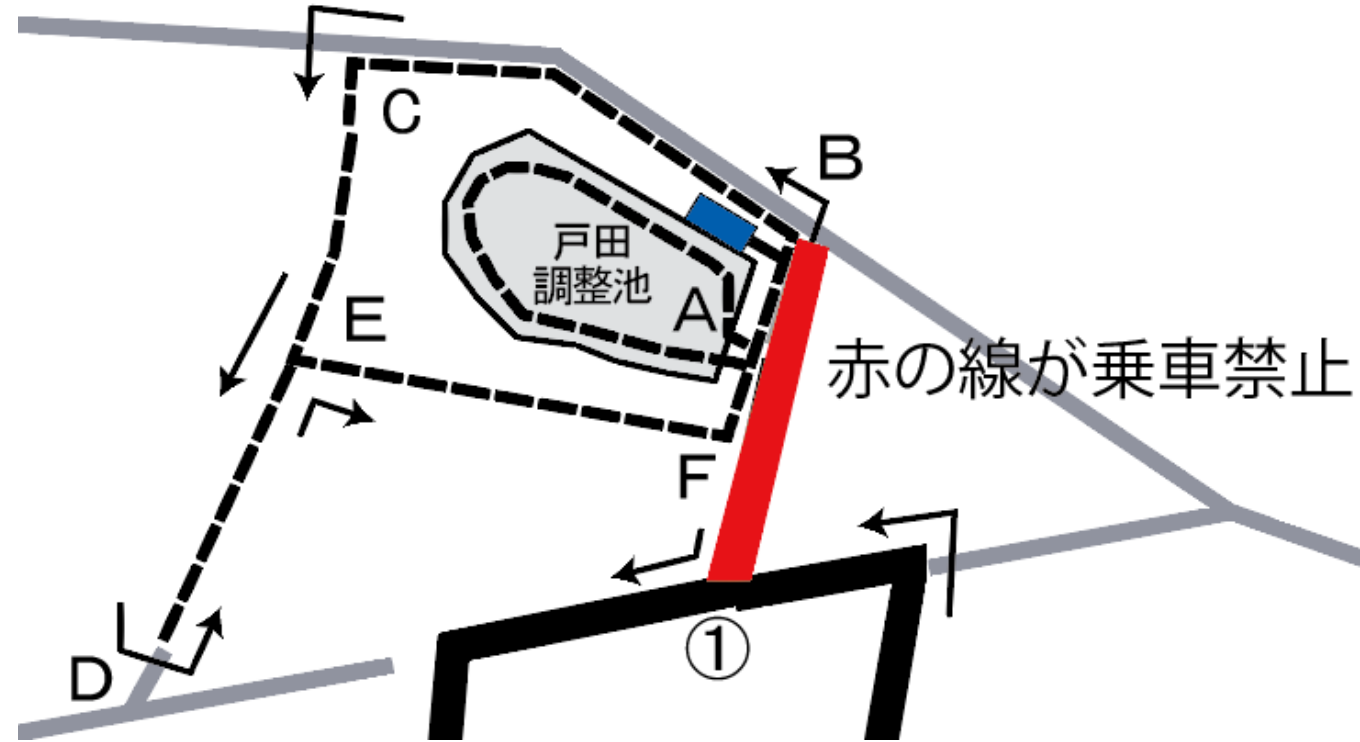
- 写真撮影を希望される方は**メディア受付**を大会受付で行い、大会中はメディアカードを**首からかけて**撮影をすること。

撮影終了後には、**メディアカードを必ず返却すること。**

- トランジッションエリアの撮影は一切禁止する。
- 審判員に対する**暴言・暴行**は行わないこと。
- **マナーをもった応援を行うこと。**

～バイクコースについて～

- ・大会当日はフィニッシュ地点と①を結ぶ直線は乗車を禁止する。
- ・そのほかの道路ではヘルメットを被り交通規則を守ることを条件に乗車を許可する。



この道路上での
停車・荷下ろし
は禁止



～駐車場について～

- 選手駐車場を
利用してください。
- 地図上で赤く示した
道路での停車・荷下
ろしは禁止。

9. オフィシャル

- オフィシャルは本大会競技規則にそって大会を運営する義務がある。
- 審議委員会は日本学生トリアスロン連合の浦上壮太郎、深谷佳亮、堀田愛によって組織される

10. プロテスト

- 審判長の判定、その他のことに関して不服がある場合は、抗議をすることが出来る。
- ただし、以下に関することは抗議を受け入れない。
 - ① **ドラフティング**
 - ② **ブロッキング**
 - ③ **暴言などスポーツマン精神に反するもの**
- 抗議がある場合は、審議委員会に対して行う。

質問

ここまでで質問がある方は
いらっしゃいますか。

ご健闘をお祈りしています！